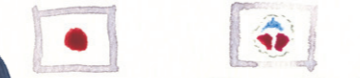


Quarterly TAKACHIHO

コロナ禍での経験を生かし
たくましく社会人となれ!



高千穂大学卒業式



Special Feature on
Congratulations

【卒業特集号】

2023

02 メッセージ

理事長 藤井 耐

学長 寺内 一

高千穂学園同窓会会長 千葉 吉明

高千穂大学父母の会会長 岩本 真生子

06 送辞/答辞 I部・II部

10 功労賞・論文賞受賞者一覧



高千穂大学広報誌

Quarterly

TAKACHIHO

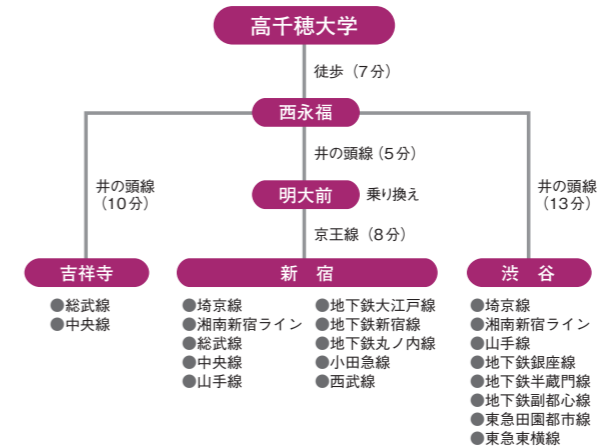
発行責任者: 渡邊 均 発行: 高千穂大学

〒168-8508 東京都杉並区大宮2-19-1

TEL: 03-3313-0276

MAIL: koho@takachiho.ac.jp

ACCESS



■山手線・新宿駅または渋谷駅から西永福駅(井の頭線)まで
13分(新宿駅からの場合は、明大前駅乗り換え)

■中央線・吉祥寺駅から西永福駅(井の頭線)まで10分

■西永福駅から本学まで徒歩7分

理事長メッセージ

祝御卒業

2 022年度卒業生の皆様。御卒業おめでとうございます。心より御祝い申し上げます。併せて御父母の皆様方に対し、御子息・御息女の御卒業の御祝いと共に、4年間に亘ります本学への御協力・御支援心より感謝申し上げます。有難うございました。

卒業生の皆様は、今後、約40年間に及ぶ職業生活、又、その後約20年間に及ぶ高齢者人生と併せ約60年間の人生を歩むこととなります。22歳の皆様にとつては「長い人生」と思われる方も多くいることでしょうか。確かに「長い人生」かもしれません。しかし、今日の努力が明日の人生を充実させるための要因であり、明日の努力が明後日の人生を充実させるための要因であることを考えますと日々の努力の蓄積こそが10年後、20年後、そして60年後の人生を充実させるための源泉となることを決して忘れないで頂きたいと思えます。

かさを求め、経済再建を遂げた昭和30年代にみる「高度経済成長時代」を知りません。又、昭和60年代から平成の時代を迎えた教年間に及ぶ土地バブル、株バブル等「狂気の時代」も経験しております。

2000年〜2001年に誕生し、少なくとも国内経済としては「宴の後」の「反省の時代」、「疲弊の時代」いわゆる「失われた10年・20年・30年」と言われる時代に誕生し、今日まで歩んでこられた時代。今後も特別な現象が発生しない限り、皆様の歩まれる日本は、「市場経済の成熟化」、「人口減少・少子高齢化」、「経営のグローバル化」、そして、成熟社会において顕在化するであろうと推察される「様々な構造的・二極化現象」がより鮮明となることでしょうか。

私たち人間は、病理現象として捉えられる諸状況を克服し、解決していく能力を有しております。同時に、強い精神性も具備しております。そのうえで、なによりもお願いしたいことは、常に、自らの「知の足らずを知り」努力を継続され

るということ、又、「無恥の恥を知り」謙虚さを失うことなく、他者と協調し、共生して頂きたいということです。

本学の「建学の精神・教育理念」は、この種の資質・能力を育んでいくことを願ひ、学生・卒業生・人間として成長されるよう期待するものでございます。卒業生の皆様には、本学の「建学の精神・教育理念」の体現者として、自らの人生を力強く、かつ、しなやかに歩んで頂きますようお願い申し上げます。2022年度も2020年・2021年度同様、新型コロナウイルス感染症による予期せざる大学生活となりました。ただし、上述の通り、皆様方の問題解決能力、精神性によりこの種の困難も克服されてきたものと御拝察致します。貴重な御経験として今後の人生に生かして頂きたいと思ひます。それでは皆様方の将来を心より期待し、結びとさせて頂きます。

2023年3月 吉日

理事長 藤井 耐



学

部生の皆さんご卒業、大学院の皆さんご修了おめでとうございます。ご家族の方々にも心からお祝いを申し上げます。今回の卒業式は新型コロナウイルス感染症の予防対策を十分に施した上で対面式での開催となりました。また、ご子息・ご息女の晴れの舞台を心待ちにしておられたご家族の皆様も一部会場への人数制限を行うことで実際に会場での卒業式といたしました。

この体育館で行われた入学式に参加した皆さんが卒業する日を迎えました。あの入学式の際には、新型コロナウイルス感染症という言葉自体も知らず、「いよいよ高千穂大学での4年間が始まるんだ」という緊張した表情でその座席に着席されていたことを昨日のように覚えていいます。そして、1年生で大学生としての基礎的な学びを終え、いよいよ2年生として専門的な勉強が始まる直前に、新型コロナウイルス感染症が蔓延し始めたのです。その後様々な制約の中で的大学生活となり、集大成となる4年生の1年間は、9割以上が対面式での授業となりました。また学生生活のもうひとつの大切な柱である課外活動も制限がかかってしまった形で実施せざるを得ませんでした。期待していた大学生生活とは異なるものにならざるを得なかったことを心よりお詫び申し上げます。しかし、皆さんが、ついに創立120年を迎える、まさに伝統と歴史を持つ高千穂学園の歴史の伝承者であることは紛れもない事実なのです。また、大学院の修士課程と博士後期課程を修了なされる方にとっては、大学院でそれぞれの研鑽が認められ、今日が、まさにプロフェッショナルとしてのスタートの記念すべき日となります。

式辞

学長メッセージ

高千穂大学の創立者である川田鐵彌先生は、高千穂学園のルーツとなる高千穂尋常高等小学校を明治36(1903)年に、現在の高千穂大学の前身である高千穂高等商業学校を大正3(1914)年にこの杉並の地に設立しました。その設立趣意書には、「本校の目的は、人格養成を主とし、商業上必要となる高等の教育を施すにあり」と書かれています。

その川田先生は大正12(1923)年の高千穂学園創立20周年の卒業式で「卒業生に対する希望」として次の言葉を残されています。毎年、卒業式の時に必ずお話ししているもので、今から100年程前のものですが、非常に重要な言葉です。歴史と伝統を持つ高千穂大学の卒業式に際して、同じこの杉並の学び舎で過ごしてきた皆様に改めてご披露したいと思ひます。

(前略)第一、学生時代には、なるべく馬車馬のやうに、左右を顧みず、専心一意、学業に忠実で、篤学の風を造るようになりたひと思ひます。第二、一旦、世の中へ出ましたならば、世の中には、学校時代よりも一層激しい競争と試験のあることを心に留めて、競争と試験に出遣ひ、益々信用を得て、御成功なさるやうにありたひと思ひます。第三、年とともに世の信用を得て順境に立つやうになりましても、良く昔のことを忘れずに、所謂温良恭儉讓の徳を守り、和やかに人に接するようになりたひと思ひます。

学生時代以上に大きな試験に挑まなければなりません。しかし、どんな時にでも、人としてあるべき誠実さを忘れずに前に進むことが大切だということ。川田先生は、「誠」という言葉を特に大切にされていました。第三は、順境にあつても「温良恭儉讓の徳を守り」とありますことから、経験を重ね、社会的に成功しても、驕ることなく、本学で培った諸々のことを忘れずに、人格をますます磨いていくことを忘れないことです。この川田先生のお言葉は、「卒業生に對する希望」でもあり、人生の先輩として、社会の中で生きていく上で何が大切かを語りかけたエールでもあります。

それから約100年を経た本日、令和5(2023)年3月20日に、皆様はこの高千穂大学から巣立られました。時代とともに大きく変わった部分ももちろんあります。近年、DXの波は社会全体に広がっています。DXは単にデジタル技術を利用することではなく、文字通りTransformation、生活をより良いものへと変革することを意味しています。デジタル技術の広がりによって、学びも人との関わりも変わってきています。また、変化のスピードも速くなっています。この変化の中で、そこに対応していく必要があることはいうまでもありません。皆さんは変化の激しい時代において、新型コロナウイルス感染症という予想もしない事態に遭遇した経験をお持ちです。そして、現実的にそれを乗り越えてきたのです。まさに川田先生の3つのエールを具現化する準備が整ったと言えます。

学長 寺内 一



同窓会会長メッセージ

ご卒業おめでとうございませう

卒 業生の皆様、ご卒業おめでとうございませう。

高千穂大学での4年間の学生生活を振り返り、様々な思い出が甦ることと拝察いたします。

現在、企業のDX、SDGs、少子高齢化、ロシアによるウクライナ侵攻、外交の複雑化など、当たり前と考えられていた常識が崩れ去る時代になっています。企業・社会は皆様に今の社会にのみ通用する知識だけでなく、若いパワーと併せて今を変える能力を求めています。本当の勉強はこれから始まります。どこの大学を出たかではなく、何が出来るかが求められています。変化に対応できる知識を磨き、他の人に説得力のある自分の主張を確立してください。これからの人生は、成功以上にたくさんの方の失敗・挫折を繰り返すでしょう。目標に向けての不断の努力の積み重ねが、必ず総合的な人間力をもった人材として成長し、明るい展望が拓けると確信しています。

皆様は、3年間にわたり新型コロナウイルス感染症の影響を受けましたが、努力の結果無事に卒業されました。多くの先生とゼミ・クラブの学友との交流が

今 春卒業を迎える皆様、ご卒業おめでとうございます。心から祝い申し上げます。

皆さんは、新型コロナウイルス感染症発生前に入学された最後の学年となりましたね。通常どおりスタートできた入学式〜1年次。学年末に突然発生した世界的感染症により、2年次最初から休校や学内入構禁止を余儀なくされ、大変な思いもされたことと思います。その後、初のリモート授業開始、対面授業の再開など、各授業ごとに異なる対応も必要となり、以前は想像もなかった変化への順応性も試されたことでしょう。しかし、若い皆さんの世の中の変化への対応力の速さには、目を見張るものがありました。様々な困難な環境を乗り越え、必要単位を修得して卒業できたことは、すごいことだと思います。幸い今年度は、郷土企画、学園祭、奨学生表彰式等の学校行事で学生の皆さんと触れ合う機会がありました。印象的だったことは、とても気さくで心温かく、聡明で親切な方々が多くいらつしやるということです。

また、大学の環境にも恵まれ、都内には珍しく緑と自然の多い閑静な環境に

父母の会会長メッセージ

皆様の新しい門出に心から祝福とエールを送ります

制約を受けたと思います。しかし、高千穂大学の建学の精神「常に半歩先立つ進歩性」「気概ある常識人、偏らない自由人、平和的国際人」に基づく体験は、これからの皆様の人生にとって大きな財産となることと思います。

ご両親をはじめとする多くの人々に支えられた学生という身分から、全てが自己責任として問われる社会人として第一歩を踏み出します。皆様は、新しい環境の社会へ出発するにあたり、明るい希望に満たされている一方、多くの不安を抱いておられるでしょう。そのような時に、同窓会の活動に参加して先輩に相談してみてください。

高千穂学園同窓会は全国の会員約3万8千人、30支部で様々な活動を展開しています。多くの先輩はいろいろな分野で活躍し、後輩の皆様に誇れる実績を築き上げ、地域・社会に大きな貢献をしております。どうぞ皆様も高千穂学園同窓会の新しい会員として、自信をもってスタートしてください。そして後輩に希望を与える人材として成長してください。皆様の飛翔を心からお祝い申し上げます。

ある構内の空気は、いつも澄んでいると感じました。春には美しい桜の木々が見事に咲き誇り、夏には学食の窓から青々とした緑の木々が風にそよいでいるのが見える、そのような素敵光景は心の宝物です。

卒業を迎え、多くの方が社会人となります。現在、地球上の至る所で紛争、災害、経済問題、食糧問題等で解決しなければならぬ事が多く発生し、正解が1つではないことも沢山あると思います。様々に変化する社会情勢の中、皆様には、高千穂大学学風の指針である「常に半歩先立つ進歩性」目標である「気概ある常識人」「偏らない自由人」「平和的国際人」の感性、学生時代に培った柔軟性と物事に対して臨機応変に対応する力を生かし、益々の発展とご活躍をお祈りしております。

最後になりましたが、これまで学生のためにいつも温かい心でご指導・ご尽力いただきました先生方、大学職員の皆様、高千穂大学父母の会にご協力・ご支援いただきました保護者の皆様に、心から感謝を込めてお礼申し上げます。



高千穂大学父母の会会長
岩本 真生子



高千穂学園同窓会会長
千葉 吉明

高千穂会一覧表

支部名	会長	卒回	住所	通信員	卒回
北海道高千穂会	井山 透	大学22	063-0002 札幌市西区山の手二条7丁目1-1-410	野西 光一	大学32
青森県高千穂会	小山内 明	大学19	030-0915 青森市小柳6-15-5	珍田 大吾	大学47
岩手県高千穂会	田村 清記	大学33	020-0875 盛岡市清水町2-33	平賀 千秋	大学37
宮城県高千穂会	小笠原 秀一	大学20	986-0825 石巻市穀町1-3	松坂 宏道	大学31
秋田県高千穂会	菊地 定夫	大学19	010-1424 秋田市御野場2-13-14	星宮 弘宣	大学21
山形県高千穂会	岩崎 啓司	大学23	992-0039 米沢市門東町1-5-33	北村 潤	大学40
福島県高千穂会 会津地区分会	松崎 陽一	大学51	966-0049 喜多方市長面3048	小野 恭史	大学56
福島県高千穂会 中通地区分会	駒木根 弘	大学29	963-0206 郡山市中野二丁目34番地	谷野 信夫	大学25
福島県高千穂会 いわき地区分会	瀬田 恒靖	大学18	970-8044 いわき市中央台飯野2-17-2	林 義功	大学26
茨城県高千穂会	滝巢 将幸	大学48	315-0074 かすみがうら市下志筑957-4	鈴木 知明	大学45

支部名	会長	卒回	住所	通信員	卒回
栃木県高千穂会	中澤 徳光	大学37	329-0511 下野市石橋588	吉田 順一	大学39
群馬県高千穂会	岩井 孝夫	大学22	375-0041 藤岡市緑堂306-5	境野 稔	大学36
埼玉県高千穂会	小林 秀夫	大学28	338-0001 さいたま市中央区上落合1-12-5-2404	百武 公親	大学32
千葉県高千穂会	中村 豊	大学64	288-0031 銚子市前宿町639	荒井 正光	大学26
東京都高千穂会	藤山 正之	大学27	198-0042 青梅市東青梅4-11-26 エスカイア河辺203号		
神奈川県高千穂会	吉田 孝一	大学18	247-0007 横浜市栄区小管ヶ谷3-17-1	北田 大介	大学51
山梨県高千穂会	廣瀬 明弘	大学30	404-0044 甲州市塩山下塩後316	木内 秀樹	大学24
長野県高千穂会	米倉 清文	大学19	381-0082 長野市大字上駒沢926-1	北島 守	大学22
新潟県高千穂会	今成 直人	大学31	949-6680 南魚沼市六日町2886	藤井 英雄	大学36
石川県高千穂会	荒木 雅之	大学28	920-0341 金沢市寺中町29-5	柴田 昇	大学28
静岡県高千穂会 中部地区分会				荒木 保貴	大学53

支部名	会長	卒回	住所	通信員	卒回
静岡県高千穂会 西部地区分会	加藤 文雄	大学31	430-0852 浜松市中区領家3-6-30	立石 和子	大学31
東海高千穂会	山本 三雄彦	大学31	461-0045 名古屋市中区栄5-7-22 BELISTA茶屋ヶ丘505号	仲 立貴	大学47
関西高千穂会	林 万佐夫	大学22	616-8426 京都市右京区嵯峨二尊院門前 往生院町15-1		
広島県高千穂会	未定				
山口県高千穂会	未定				
香川県高千穂会	松本 博光	大学24	760-0013 高松市扇町1-28-25	小河 正昭	大学32
愛媛県高千穂会	河野 隆幸	大学22	791-8061 松山市三津3-4-36	久保 俊男	大学23
高知県高千穂会	高村 俊寛	大学49	781-5103 高知市津乙132-5 フレグランスA202	塩見 浩一	大学22
九州北部高千穂会	岡田 浩昌	大学34	800-0117 北九州市門司区恒見1284	三好 政一	大学55
宮崎県高千穂会	南 貴彦	大学35	880-0907 宮崎市淀川2-5-11	柏田 高宏	大学45

高千穂大学
父母の会・事務局

〒168-8508
東京都杉並区大宮2丁目19番1号

TEL/FAX 03-3313-0432
E-mail fubokai@takachiho.ac.jp



答辞

貝瀬 とりの

卒業生代表

経営学部 企業経営コース
新潟県私立東京学館新潟高校出身
嘉瀬ゼミ



送辞

在学生代表

塚田 晴香

経営学部 企業経営コース 3年
神奈川県立大磯高校出身
小林ゼミ

冬 の寒さもようやく遠のき、やわらかな日差しが心地よく、春の訪れを感じる季節となりました。本日は、私たち卒業生のために、コロナ禍という状況のなか、このような素晴らしい式典を挙げていただき、誠にありがとうございます。また、御多用にもかかわらず御来賓の皆様より、お祝いのことをいただきましたこと、厚く御礼申し上げます。

思い起こせば4年前、これから始まる大学生活に大きな期待と不安を抱きながら、高千穂大学に入學した日のことを、昨日のことに思い出します。入学当初は慣れない大学生活に付いていくのに必死で、ただ目の前のことやるのに精一杯になっていたことを思い出します。しかし、先生方や先輩方、周りの仲間の支えがあり、1年次の冬には2年次から始まるコースやゼミナールの選択など自分の将来を見据えた選択ができるほど心に余裕ができ、充実した日々を送ることができるようになりました。

2年次以降では新型コロナウイルス感染症の影響により、講義受講やゼミナール活動がオンラインとなり、友人と会えない日々が続き、孤独を感じた時もありました。ようやく慣れてきた大学生活も大きく変化し、いつコロナウイルスが終息するか分からない状況の中、その変わった学生生活に適應するのに苦労しましたが、1年次に立てた大学生活4年間の計画を基にコロナ禍でもできることを選択し、行動してきました。また、留学や就職活動においては対面で行える機会が激減し、前例の少ない中オンライン上で最大の成果を出すためにはどのようにしたら良いかを日々模索しながら多くの失敗や経験をしてきました。

大学4年間のうち3年間をコロナ禍で過ごした大学生活でしたが、私はとても充実した日々を過ごすことができた実感しています。2年次に6か月間カナダに留学をしたという想いがあつたため、1年次から受講可能な英語の講義をいくつも受

桜 のつぼみも大きく膨らみ、春の訪れを感じる季節となりました。

卒業生並びに修了生の皆様、ご卒業、ご修了、誠にありがとうございます。在学生を代表し、心よりお祝い申し上げます。

今日という旅立ちの日を迎え、皆様は今、様々な思いを胸に高千穂大学での学生生活を思い返していらつしやると思います。日々の講義やゼミナール活動で勉学に励まれたこと、部活動やサークル活動で仲間と共に邁進されたこと、ご学友との何気ない会話や出来事など、お一人お一人が、かけがえのない時間を過ごされたことと思います。

そのような大学生活における思い出を、わずかながら共有させていただきましたこと、在学生一同大変嬉しく、また光栄に思っております。

さて、今年度は新型コロナウイルス感染症による制限が緩和され、秋学期には多くの授業が対面での実施となりました。高千穂祭も3年ぶりに実地開催となり、徐々に新型コロナウイルス拡大前へと姿を戻しつつあります。皆様の

講し、TOEICの試験勉強にも力を注いでいました。コロナ禍で実際に現地に行き留学することは叶いませんでしたが、3年次に大学の留学制度を利用してオンラインで夏休みの1か月間参加できました。そのオンライン留学では、日本人以外にも韓国や中国から集まった学生と同じクラスとなり、オンライン上であれ国を超えた考え方や文化、価値観の相違などを知ることができ、自分自身の視野が広がることも良い時間を過ごすことができました。この経験を大切に新社会人として、大きな一歩を踏み出していきたくと考えています。

今年の5月からはコロナウイルスも季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げられ、コロナウイルス流行以前の生活に戻ると思われます。その頃私たちは社会人として学生の頃とは異なる大きな壁にぶつかっている、もしくはその大きな壁を越えるために必死にもがいているかもしれません。どんな状況であろうと私たちには大学生活で出会った仲間、大学での学びがあるため、乗り越えていくはずで

最後になりますが、今日この日を迎えることができましたのも、藤井理事長、寺内学長をはじめ、今日まで私たちに多くの学びを与えてくださいました諸先生方、何事にも親身にサポートしてくださいました事務職員の皆様、共に励まし合った友人、保護者の皆様、あたたかい御支援、御協力のおかげであり、卒業生一同、深く感謝しております。卒業生を代表して、私たちが支え、導いてくださった全ての方々に心より御礼申し上げます。

本日、卒業を迎える私たち全員の未来が希望に満ちあふれたものになること、後輩の皆様方のさらなる御健闘、御活躍を心よりお祈り申し上げ、高千穂大学のより一層の発展を願い、答辞といたします。

2023年3月20日

過ごした4年間は、変化の連続で思っていた通りの大学生活ではなかったかもしれません。しかし、皆様はどのような状況にも挫けることなく、努力や試行錯誤を重ね、変化に対応して進化し続けてこられました。それらすべての経験が、予測困難な社会で生きる上で必ず助けとなることでしょう。

これから、卒業生・修了生の皆様はそれぞれの道に進んでいかれます。時には順風満帆とはいかないこともあるかもしれませんが、しかし、そのような時は高千穂大学での日々を思い返してみてください。大学生活での経験や皆様の大切に思う多くの方々、前へと進む原動力となることでしょう。皆様がそれぞれの場所で自分らしく輝けるよう、在学生一同心より応援しております。

最後になりましたが、皆様のご健康とますますのご活躍を祈念いたしまして、送辞とさせていただきます。

2023年3月20日



今城 航輝

卒業生代表

商学部 マーケティングコース
千葉県私立中央国際高校出身
齋藤典晃ゼミ



在学生代表

和久井 沙南

商学部 会計コース 3年
栃木県私立宇都宮短期大学附属高校出身
簿記会計研究会、高千穂実行委員会
石井ゼミ

答 辞

送 辞

厳 しい寒さも和らぎ、春の訪れを感じる心地よい季節となりました。このような良き日に、晴れて高千穂大学をご卒業される皆様へ、在学生を代表し、お祝い申し上げます。皆様は、高千穂大学にご入学されてから今日の卒業に至るまでの学生生活をどのように振り返っていらっしゃいますか。新生活への期待と不安を抱きながら、迎えた入学式から4年、かけがえない出会いと経験、色鮮やかな思い出を胸にして、今この場にいらつしやることと思います。私たちが在学生は、皆様のこの学び舎での思い出を、僅かながら共有させていただき、またことを大変嬉しく、光栄に思っております。

さて、今年度は、ゼミナール発表会や高千穂祭が3年ぶりの対面開催となり、遠ざかっていた活気が戻ってくる、そんな兆しを感じた1年でした。皆様は、長い間、学生生活の制約を余儀なくされ、また就職活動におかれましても、不安な日々を過ごされたことと思います。しかし、予期せぬ事態に遭遇し、様々な制限を強いられようと、試行錯誤するなかで自らができることを見つけ出し、実行して過ごされた日々は、

2023年3月20日

日 差しが柔らかくなり、春の足音が徐々に近づいてまいりました。本日はお忙しい中、藤井理事長、寺内学長をはじめ、先生方、職員の皆様、御来賓の皆様、保護者の皆様に御臨席賜り、私たちのためにこのような盛大な卒業式を挙げてくださり、誠にありがとうございます。

今日をもつて私たちは高千穂大学を卒業します。4年前、出身も年齢もバラバラの私たちは期待と不安が入り混じりながら高千穂大学に入学しました。1年生のときは基礎科目が中心で授業数も多く、平日は毎日のように大学にきていました。冬には専門ゼミナールの面接も行われ、2年生からの専門的な授業を楽しみにしていました。しかし春休み中に新型コロナウイルス感染症が蔓延し始めました。街からは消え自宅に籠る時代となり、5月12日から始まった2020年春学期はフルリモート授業となり大学にはほとんど通わなくなりました。3年生になり分割ではあるものの対面授業が少しずつ増えてきて大学に通える喜びを感じつつ、学籍番号によつては全然会えない学友もいました。就職活動など新たなことも始まりました。4年生になった2022年度はほとんどの授業が対面授業となり、4月、久しぶりにたくさんの方が行き交う1号館の階段を見てようやく戻ってきた感覚になりました。さらに、ゼミナール発表会や高千穂祭も3年ぶりに対面開催することができました。

卒業生の皆さんは4年間を振り返ってどのように感じますか。勉学に励んだ人、アルバイトを頑張った人、部活やサークル活動に明け暮れた人、ゼミ連や体育会本部などの学友会活動で活躍した人、広報課学生スタッフの活動などから大学を支えてくれた人、それは入学時に考えていた学生生活とは違ったものになってしまったかもしれませんが、全員が思い思いの4年間を過ごしてきたと思います。

2023年3月20日

決して暗く、我慢だけの日々ではなかったと、そう信じております。4年間の半歩、半歩の絶え間ないあゆみが、そして皆様を大切に思う全ての方々が、力となり、支えとなり、皆様がさらに前進する原動力となるに違いありません。

これから、皆様はそれぞれ新しい道を進んでいくこととなります。時には壁にぶつかり、逆風に見舞われることもあるかと思いますが、それでも、ここ高千穂大学で学んだことを心にとめ、過ごされた日々を礎とし、力強く自分自身の道を歩まれていくことでしょう。皆様の未来が明るく幸福に満ち溢れていることを、切に願っております。

最後になりますが、本日まで卒業される皆様へ、心よりの感謝とお祝いを申し上げますとともに、新たな門出に際し、今後皆様のご健康とさらなるご活躍を心よりお祈り申し上げ、送辞とさせていただきます。本日はご卒業、誠にありがとうございます。

これから私たちは再びバラバラの道に歩みを進めることとなります。就職する人、大学院などに進学する人、家を継ぐ人、起業する人、どの道も平坦とは言えず、今までのような困難や苦労を経験するかもしれません。

しかし、そのような時でも大学生活で得たものを忘れずに邁進していきたいと思えます。

コロナ禍で大学に来る機会も多くなく、今日久しぶりに会った学友もいます。もしかしたら大学に来るのが久しぶりの人もいらっしゃるかもしれません。大人数で集まる機会も多くなく、「久しぶり！」となることも少なかつたです。専門ゼミという高千穂大学の基幹が始まる2年生がフルリモート授業であったため、ゼミ内の友人関係の構築に苦労した人もいると思います。人との関わりが薄れてしまったこの時代において、二部制ではありますが最後にこの空間で一室に会えることができ大変嬉しく思います。

最後になりますが、今日無事に卒業ができたのは藤井理事長、寺内学長をはじめ私たちに多くの学びを与えてくださった先生方、コロナ禍の大変な中、工夫して全力で支えてくださった職員の皆様、一緒に切磋琢磨してきた友人たち、大学生活のいろはを教えてくれた先輩方、慕ってついてきてくれた後輩たち、そしてなによりここまで長年支え見守り協力してくれた家族のおかげです。卒業生を代表して心より御礼申し上げます。

本日はもつと感謝を伝えたいのですがこれ以上話すとも暮れしてしまうので続きは個別に伝えようと思います。

本日卒業を迎えられる皆様の未来が希望に満ちたものであること、後輩の皆様方の更なる御健闘、御活躍そして高千穂大学のより一層の発展と躍進を願ひまして送辞とさせていただきます。

① INFORMATION

卒業後の各種利用や証明書発行についてのご案内です。ぜひご利用ください。

卒業生の図書館利用について

卒業生の方も図書館が利用できることをご存知ですか？本学は卒業生の皆さんの社会活動を応援するために、図書館を開放していますので、大いに利用して下さい。

●図書館の情報はホームページでもご覧いただけます。
www.takachiho.jp/lib
TEL 03-3313-0147

利用方法

図書館総合カウンターで「図書館利用カード」発行の手続きをお取り下さい。その際、身分証明書の提示と登録料1,000円が必要となります。図書の貸出も行いますが、貸出期限や利用時間が在学生とは異なる場合がありますので確認して下さい。

証明書発行の申請について

卒業生が卒業証明書などの証明書を必要とする場合はインフォメーション窓口への直接申請(以下「窓口申請」と、郵送による申請(以下「郵送申請」)の2種類があります。

「窓口申請」方法と証明書の受け取り

- 窓口備付の「証明書交付願書」に必要事項を記入し、身分証明書を提示のうえ、交付手数料をお支払いください。
- 申請後和文証明書は1~3日、英文証明書は3~7日(土日・祝日・事務局休業期間中を除く)で発行いたしますので、後日窓口または郵送での受け取りになります。

「郵送申請」方法と証明書の受け取り

- 「証明書交付願書」をホームページよりダウンロードして記入していただくか、必要事項を記入した文書^(※1)を作成してください。なお、卒業後に氏名を変更された方は、在学当時の氏名を() 付で併記してください。
 - ①「証明書交付願書」、②交付手数料分の定額小為替(または郵便切手)、③返信用封筒(返信用切手を貼付)に住所・氏名を記入したもの、④身分証明書のコピー、の4点を同封して申請してください。
 - 申請書類を受理してから3~7日(土日・祝日を除く)で発送いたします^(※2)。
- ※1 必要事項:氏名・フリガナ・生年月日・住所・電話番号・入学年月・卒業年月・学籍番号・使用目的・提出先・証明書の種別と必要数(英文証明書の場合はローマ字氏名も記入)
※2 発送後の郵便事故、不着に関しては責任を負いかねます。速達郵便・簡易書留等をご利用いただくことをお勧めします。

●詳しくは、「千穂大学 HP」→「卒業生の方へ」→「卒業生の証明書申請について」を参照。

「証明書」の種別と交付手数料

「卒業(修了)証明書」	200円
「成績証明書」	500円
「英文卒業(修了)証明書」	1,000円
「英文成績証明書」	2,000円
「単位修得証明書」	500円
「在学期間証明書」	200円

申請先と事務取扱時間等

- 申請先
〒168-8508 東京都杉並区大宮2-19-1
高千穂大学CSインフォメーション証明書交付係
TEL 03-3313-0431
- 事務取扱時間
平日9:00から16:30、土曜日9:00から11:30
※新型コロナウイルス感染防止対策等の理由で事務取扱時間が変更となる場合があります。
- 事務局休業日
日曜、祝日、夏季・冬季休業期間
※詳細は学年暦による

白根セミナーハウスの利用について

現在、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策として、利用人数制限等、別途ガイドラインを定め運営しております。詳細につきましては、ホームページにてご確認ください。

申込方法	予約は利用日の2ヶ月前から受付を開始します。大学においていただけない方はまず総務課(TEL 03-3313-0141 平日9:00から16:30、土曜日9:00から11:30)へご連絡ください。
利用料金(1泊2食付)	卒業生 4,000円(野外バーベキューは500円追加)
定休日	毎週水曜日が定休日です。それに伴い、前日の火曜日から宿泊はできません。
施設	取容人員50名 客室8室(エアコン、テレビ完備) 食堂50席 駐車場28台 セミナールーム 野外バーベキュー(5月下旬~9月末) テニスコート バドミントンコート 卓球台
送迎バス	万座・鹿沢口駅からセミナーハウス間の送迎を行っていますので、希望される方は申し込み時にお申し出下さい。
取り消し及び変更	使用日の3日前までに総務課(TEL 03-3313-0141 平日9:00から16:30、土曜日9:00から11:30)までご連絡下さい。それ以降の取り消しは、原則として利用料金の払い戻しはございません。

- 所在地 〒377-1712 群馬県吾妻郡草津町前口3-107 TEL 0279-88-4026
- 交通 上野より(長野原草津口又は渋川乗り換え吾妻線)万座・鹿沢口駅下車、送迎バスがあります(約20分)。草津温泉までは、軽井沢駅(西武観光バス、草軽交通)及び東京駅・新宿駅(JRバス関東)よりバスが運行しています。関越自動車道、渋川・伊香保ICより約1時間。上信越自動車道、碓氷軽井沢ICから鬼押ハイウェイでの利用も可能。

利用者心得

- ①チェックイン13:00 チェックアウト10:00
- ②公共利用場所(食堂等)の使用は21:00までとする。
- ③利用者は、使用許可書を管理人に提出し、宿泊者名簿に必要事項を記入のうえ、部屋割を受けること。
- ④利用者は、管理人の指示に従い部屋の清掃、整理、整頓、食器の後片付け等は各自で行うこと。
- ⑤施設、備品等を使用するときは、あらかじめ管理人に届け、指示に従うこと。破損した場合は、その実費を弁償すること。
- ⑥火気には特に注意し、喫煙者はマナーを守ること。
- ⑦施設内の風紀、秩序を乱したり、他人の迷惑となる行為をした者は以降の使用を禁止する。

●ホームページでもセミナーハウスの詳しい情報をご覧いただけます。
www.takachiho.jp/seminar_house

表紙の人



小波津 朋恵(写真左)

人間科学部 社会・ライフデザインコース
東京都立小岩高校出身
スキー部、吉原ゼミ
2年次小池厚之助賞受賞
3年次小池厚之助賞受賞
4年次学業成績優秀者賞受賞

今城 航輝(写真右)

商学部 マーケティングコース
千葉県立中央国際高校出身
寶藤興発ゼミ
2年次小池厚之助賞受賞
3年次小池厚之助賞受賞
4年次学業成績優秀者賞受賞

功労賞とは、在学中に学友会活動などの振興に顕著な功績を残した学生を表彰するものです。また、論文賞は卒業論文が教務委員会および教授会で優秀であると認められたものです。これらのように在学中のさまざまな活動や功績に栄誉を称え、そして卒業後、企業や社会での更なる活躍を大いに期待しています。輝け、卒業生たち!!



受賞者一覧 功労賞・論文賞

激動の時代を、一緒に乗り越えた仲間と

私が学友会役員、体育会役員としてまともな活動ができたのは、4年次のみでした。コロナ禍のため、1から始めることがとても多くありましたが、楽しい時よりも壁に突き当たり、頭を抱えることの方が多かったのですが、一つひとつ乗り越えて活動ができたのは、仲間の協力があったからこそでした。活動を通して出会った方々のおかげで大学生活が有意義なものになり、これまでの日々はかけがえのない時間になりました。卒業後も新たな出会いを大切に、そして努力を重ねていきたいです。



小山 海

商学部 マーケティングコース
神奈川県立三浦学苑高校出身
学友会企画局長
体育会会計局長(3・4年次)
卓球部
寶藤興発ゼミ



塩飽 和広

経営学部 企業経営コース
東京都立大東学園高校出身
高千穂祭実行委員会副委員長(3年次)
学友会企画局長
竹内慶司ゼミ



岡本 虹花

商学部 マーケティングコース
神奈川県立藤沢清流高校出身
学術文化団体連合会企画局長(3年次)
学友会企画局長(3・4年次)
ダンス同好会
永井ゼミ



内田 樹

人間科学部 児童教育専攻
東京都立工学院大学附属高校出身
学友会副会長
染谷ゼミ



川又 文哉

商学部 会計コース
東京都立東京実業高校出身
体育会副委員長
体育会会計監査局長(3年次)
学友会会計局長(3・4年次)
和弓部
樹谷ゼミ



三田 朔

経営学部 経営法務コース
東京都立科学技術学園高校出身
学術文化団体連合会会計監査局長(3年次)
学友会会計局長(3・4年次)
簿記会計研究会
村上ゼミ



伊藤 義規

経営学部 経営法務コース
東京都立立志舎高校出身
学友会会計局長
学術文化団体連合会会計監査局長(2・3・4年次)
簿記会計研究会
村上ゼミ



鴫田 由花

商学部 会計コース
神奈川県立生蘭高等専修学校出身
学術文化団体連合会委員長
学友会広報局長
美術部
西山ゼミ



君島 柚衣

商学部 マーケティングコース
栃木県私立国際TBC高等専修学校出身
学友会広報局長
高千穂祭実行委員会副委員長(3年次)
永井ゼミ



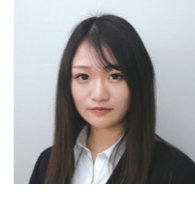
小宮 知樹

商学部 マーケティングコース
東京都立新宿山吹高校出身
ゼミナール連合企画局長(3年次)
学友会会計局長(3・4年次)
庄司ゼミ



佐藤 莉子

人間科学部
心理・コミュニケーションコース
東京都立竹台高校出身
体育会総務情宣局長(3・4年次)
学友会書記局長(3・4年次)
スキー部
徳田ゼミ



藤田 采

経営学部 企業経営コース
学友会書記局長(3・4年次)



高橋 美実

商学部 マーケティングコース
秋田県秋田市立秋田商業高校出身
高千穂祭実行委員会放送局長(3年次)
学友会広報局長
庄司ゼミ



金子 智哉

経営学部 経営法務コース
東京都立府中高校出身
学術文化団体連合会会計局長(3年次)
フォークソング研究会
村上ゼミ



森 航也

経営学部 経営法務コース
栃木県私立作新学院高校出身
体育会会計監査局長
合気道部



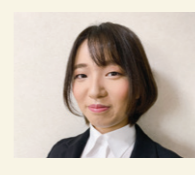
鈴木 駿之介

商学部 会計コース
国立東京工業高等専門学校出身
学友会会計監査局長
高千穂祭実行委員会会計局長(3年次)
川崎ゼミ



論文賞

論文タイトル
危機的状況において企業存続のためにサブ事業が果たす役割
—常磐興産株式会社の多角化戦略—



加藤 あかり

商学部 会計コース
福島県立福島南高校出身
美術部
樹谷ゼミ



田中 あゆみ

人間科学部
心理・コミュニケーションコース
東京都立成女高校出身
学術文化団体連合会総務情宣局長(3年次)
漫画研究会
立石ゼミ

Quarterly
TAKACHIHO

【クォーターリー 高千穂】
Graduation/2023 Vol.91
【卒業特集号】

- 編集長 渡邊 均
- 委員 坂田 利康
- 編集・印刷 orange corporation

高千穂大学ソーシャルメディア公式アカウント

卒業後に大学の最新情報、先生や後輩の活動、そしてクラブ・サークルの様子を知りたい！
という方は、大学の公式アカウントをフォローしよう！

